



# 第11回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 創意工夫に満ちた活動で、深まる交流の絆

（一財）自治体国際化協会交流親善課

“Think Globally, Act Locally.”という言葉には、グローバルな視野をもって、身近な地域から行動しようという、草の根の国際交流活動のメッセージが込められています。

地域の国際化が進展するなか、草の根レベルの国際交流は全国に広がり、日本の姉妹都市提携は、1,711件にまで上っています（2017年7月1日現在）。

世界の都市と日本がつながる国際交流。各自治体は、それぞれの地域の特性や魅力を生かした独自の活動で、その交流の絆を深めています。

## 総務大臣賞

自治体国際化協会では、総務省と共催で、創意工夫に富んだ国際交流の取り組みを「総務大臣賞」として表彰し、全国に広く紹介しています。これは、まだ知られていない交流活動の優良事例を掘り起こして、その活動を各自治体に共有してもらい、地域のさらなる国際化や自治体間の連携強化を目指すものです。

2006年度にスタートし、本年度で第12回を迎えるこの表彰は、毎年秋に募集を行い、学識者などで構成される審査委員会での審査を経て、受賞団体が決定します。

2016年度は35件の応募があり、新潟市（新潟県）、やまとたかだ大和高田・リズモー都市友好協会および大和高田市（奈良県）、うちこ内子町（愛媛県）の3団体が、総務大臣賞を受賞しました。



審査委員会での審査風景

本年5月8日、総務省原田副大臣室で表彰式が開催され、原田副大臣の挨拶のあと、審査委員会の榎田副委員長（愛知淑徳大学名誉教授）が講評を述べ、各受賞団体より謝辞がありました。



原田副大臣を囲んで記念撮影

### 【2016年度 受賞団体】

- ◆新潟市（新潟県） 📍 評価ポイント  
 📍 地道な交流が、国際情勢に左右されない自治体外交として、他の模範になった点などが評価。
- ◆大和高田・リズモー都市友好協会、大和高田市（奈良県）  
 📍 日本とオーストラリアの姉妹都市第1号として、54年も交流が続き、スカイプ（インターネット電話）を使った活発な活動などが評価。
- ◆内子町（愛媛県）  
 📍 姉妹都市のドイツで、ソーセージ作りなどの修業を行った職人による新しい産業の創出が評価。

3団体とも、地域に根ざした多彩な活動でまちの魅力を伝え、交流の歳月が絆を深めている点が評価されました。また、国際交流に込められた思いは地域の青少年へ託され、市民意識の高揚にもつながっているようです。

今年度も秋から募集を開始しますので、多数のエントリーをお待ちしております！

今号から順次、受賞団体の活動をご紹介します。

## ■表彰団体の紹介

新潟市（新潟県）

新潟市国際課

◀新潟市の姉妹・友好都市、交流協定都市▶

ガルベストン市（米国）、ハバロフスク市（ロシア）、  
ハルビン市（中国）、ウラジオストク市（ロシア）、  
ピロビジャン市（ロシア）、ナント市（フランス）、  
ウルサン広域市（韓国）

計 7 都市

## 「自治体外交」で信頼関係構築を

新潟市は古くから港町として発展し、日本海の対岸地域を中心に、世界の多くの都市との結びつきを深めてきました。

新潟市の国際交流の最大の特徴は、国同士の関係が難しい状況にあっても、都市と都市との間の信頼関係を着実に積み重ねてきた点にあります。

世界が冷戦期にあった 1960 年代、当時対岸地域で唯一国交が回復されていたソ連に目を向け、1965 年にハバロフスク市と姉妹都市提携をしました。また、ソ連崩壊の直前である 1991 年には、ウラジオストク市の対外開放前に、同市にとって初めてとなる姉妹都市として提携しました。

近年では、中国・韓国との国家間関係が難しい中、「こんな時こそ地方同士の交流を」との思いから、2015 年の東アジア文化都市事業をはじめ、両国の都市との文化交流を積極的に行ってきました。

国家間関係が自治体や市民の交流に大きな影響を与える

今日にあって、私たちはこうした情勢に左右されにくい、都市間の強い信頼関係を築いていく「自治体外交」を今後も展開する考えです。



新潟まつりに参加するハバロフスク・ダンスアンサンブル団員

## 姉妹交流から都市間ネットワーク形成へ

姉妹・友好都市、交流協定都市である、米国・ロシア・中国・韓国の都市との間には、それぞれ草の根の交流を

推進する市民委員会があり、ナント市との間では、市の提携に先んじて発足した市民有志の組織「新潟・フランス協会」が交流をリードしてきました。

新潟市は、1対1の都市間交流で培った信頼関係を基軸に、面的な都市間ネットワークの形成にも貢献しています。

1970年に始まった「日ロ（日ソ）沿岸市長会議」は、新潟市とハバロフスク市が主導し、日本側の日ロ沿岸市長会（17市）とロシア側のロ日極東シベリア友好協会（20市）が参加しています。

ナント市との間でも「日仏都市・文化対話」を主導し、両国の都市間対話の拡大に貢献しており、中国・韓国との間では、今年8月に開催される「東アジア文化都市サミット」（京都市）に参加して、都市間の結びつきを強めていきます。

このほか、ハバロフスクとハルビンの両市も新潟市との提携後に姉妹都市となり、3市間で環境分野の専門家が議論する「三都市環境会議」が毎年開催され、国際的な取り組みを進めています。

新潟市はこうしたさまざまな都市間ネットワークの結節点となり、交流を盛んにして地域の平和に貢献していきたいと考えています。



「政令市移行 10 周年記念・国際フレンドシップステージ」でのウルサン市国楽協会公演

## 新潟の魅力を世界に発信

コメを中心とする食文化や豊富な水と土によって育まれてきた風土など、これからも新潟の魅力を世界に発信していくとともに、多くの市民参加による国際交流が評価された、今回の受賞を市民とともに喜び、その成果を未来へとつなげていきます。